

見た目では材質が判断できない繊維系の異物について、FTIRを用いて分析することで材質を特定することができる場合があります。発生原因を突き止めることに役立っています。

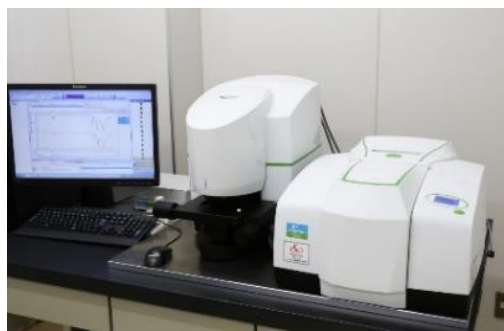


繊維状の異物の発生原因を突き止めたい。
候補を3つまで絞ったけど、どれが異物と同じ成分だろう…。

そんな時にはFTIRでの比較分析がおすすめです。



使用する装置の候補



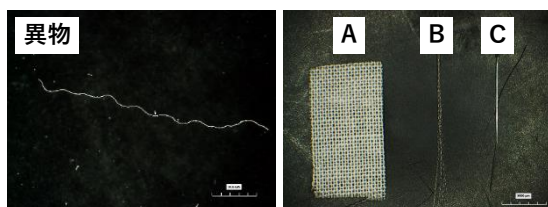
● 赤外分光分析 (FTIR)

利用方法	主な項目
委託試験	赤外分光分析
設備使用	赤外分光分析装置 (顕微測定除く)

* 料金は別途料金表をご確認ください。 / * 3拠点で対応可能です。 / ご依頼での分析はもちろん、企業様ご自身で操作いただくことも可能です。装置の使い方やデータの読み方もサポートします

調査手順のイメージ

① 異物を観察し、色や形状が似ている比較対象物を集めます。

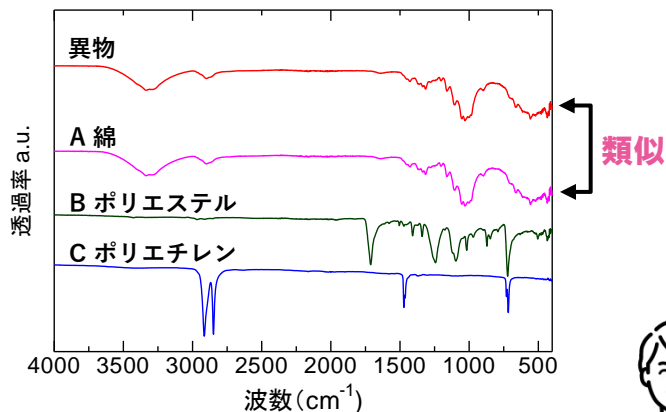


FTIRでは、異物のみでの分析では、材質を推定することが難しいことがあるため*、素性のわかる比較対象物を合わせて分析すると効果的です。



* データベースとの照合により材質を推定できる場合もあります。

② FTIRで、異物と比較対象物を分析し、結果を比べます。



今回の異物は、Aの綿素材の可能性が高いです。作業着由来かもしれませんね。他の物にも綿が使われていないか確認してくださいね。



なるほど。作業着を毛羽立たないものに変えようかな。

